



北海学園 中期計画 2025-2029

Medium-term Plan

目次

中期計画 2025-2029 の策定にあたって	1
中期計画 2025-2029 の概要	2
中期計画	4
教育	4
研究	6
学生・生徒支援	6
社会連携・貢献	8
国際化	8
広報・ブランディング	9
経営基盤	10
施設設備	12

中期計画 2025-2029 の策定にあたって

学校法人北海学園は、1885年3月大津和多理を中心として創設された北海英語学校を起源としています。北海英語学校は、当時、札幌農学校予科への入学を目指す北海道唯一の中等教育機関として、北海道開拓を担う人材の育成を期して創られました。大津の後を継いだ“北海学園の父”浅羽靖は、1905年に私立北海中学校を設立するなど、現在の学園の礎を築きました。大津ら設立者の信念は、その後も継承され、現在は、北海学園大学、北海商科大学、北海高等学校、北海学園札幌高等学校の2大学2高等学校を設置する学園へと発展し、社会の各方面で活躍する数多くの有為な人材を輩出してまいりました。

現在、私学を取り巻く環境は、少子高齢化による高校、大学の入学年齢人口の減少、収容定員管理の厳格化、ガバナンスや経営体制の強化などの学校運営の根幹に関わる変化とともに、情報化、ボーダレス化、グローバル化の急速な進展により学校間競争は激しさを増しております。こうした変化の激しい予測困難な時代においても、適切かつ柔軟な対応と経営を目指し、「北海学園中期計画 2025-2029」を策定いたしました。

「北海学園中期計画 2025-2029」は、2023年度の理事会で策定に向けた検討を開始しました。策定にあたり、設置各校の建学の精神とこれまでの教育研究活動によって培ってきた歴史や伝統を踏まえ、設置各校に共通する学園としての教育理念を再定義しました。そして、2035年に迎える創基150周年、さらにはその先の未来に向けて発展を続けるために、2035年に学園がどうありたいか、どうあるべきかを「北海学園 VISION2035」としてまとめ、本学園の構成員にとって共通の目標、指針とすることといたしました。また、2020年度から進めてきた中期計画の成果と反省点等を踏まえ、今回の中期計画では各計画の到達目標を明確にし、プランの進捗状況を測ることができる指標を設定することで、計画を着実に進められる仕組みを整えました。本計画書にまとめられた中期計画は、これから先、単年度事業計画において具体化し、予算と連動させることで着実に遂行することができます。

この中期計画は、本学園の将来とその発展に向けて役員、全教職員が同じ方向へ進むための道標となるものです。本学園を構成する全員が目標達成のために、単年度事業計画を通じて中期計画を着実に遂行することで、教育研究の質の向上と発展的成長を推進してまいります。

北海英語学校創設から140年間紡いできた歴史と伝統を受け継ぎ、創基150周年、そしてその先の未来を見据えて、これからも地域社会の皆さまを始めとするステークホルダーの方々とともに歩み続け、時代や社会の要請、地域社会の負託に応えつつ、皆さまから評価される学園でありたいと願っております。引き続き本学園に対するご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2025（令和7）年3月
学校法人北海学園 理事長 安酸 敏眞

中期計画 2025-2029 の概要

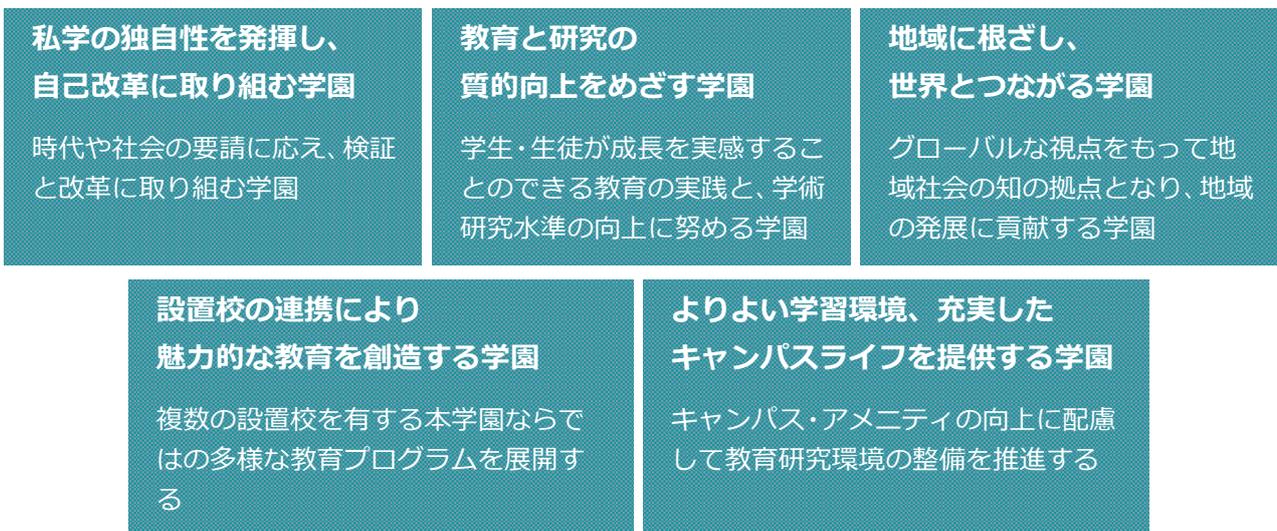
建学の精神・教育の理念

本学園が設置する学校の建学の精神やモットーとしているものの表現は、それぞれ異なりますが、その淵源は 1911 年に“北海学園の父”浅羽靖が制定した 26 条から成る北海中学校の「学訓」に求めることができます。その第 25 条には「道義ニ由テ発スル所ノ勇ニ非レバ真ノ勇ト言フヲ得ズ真ノ勇ハ不屈不撓万難ヲ排シテ邁進シクク久シキニ耐工死ニ至ルマデ廃セズ故ニ成功セザル者幾ンド希レナリ」と定められており、浅羽の「百折に撓むことのない有為の社会人たれ」という教えが北海中学校の学訓において明文化され、今日、各学校に共通して受け継がれています。



北海学園 VISION2035

これまで本学園が積み重ねてきた歴史と伝統を継承し、理念の実現と使命を果たすべく、2035 年に迎える創基 150 周年に向けて「北海学園 VISION2035」を策定いたしました。「北海学園 VISION2035」は、2035 年に本学園がどうありたいか、どうあるべきかをまとめたもので、150 周年に向けて、さらにその先の未来に向けて、本学園がさらなる発展を続けるために掲げた本学園の構成員にとって共通の目標、指針となるものです。



予測困難な変化の激しい時代の波の中においても、学園を構成する全員が、ビジョンに掲げた学園づくりに邁進してまいります。

これら設置各校の建学の精神とこれまでの教育研究活動によって培ってきた歴史や伝統を踏まえ、設置各校に共通する学園としての教育理念を次のとおり再定義しました。

❖ **パイオニア精神をもった人物の育成**

「不屈不撓」の精神をもって困難を乗り越え未来を切り拓く志ある人を育てる

❖ **自ら学び、考え、行動する人物の育成**

自主・自立・自律を重んじ、確かな学ぶ力と思考力、実践力を育てる

❖ **広い視野と多角的な視点を有し、国際感覚を備えた人物の育成**

専門知と総合知を兼ね備え、地球市民としての資質を身につけた人を育てる

❖ **「質実剛健」で豊かな人間性をもった人物の育成**

誠実で健全な精神をもち、他者を尊重し多様性を認め合う人を育てる

❖ **地域や社会に貢献する人物の育成**

多様な人々と共生・協働して地域や社会を支える人を育てる

中期計画と理念・ビジョン等との関係性

学園の経営や教育研究活動の根幹にあるのは、建学の精神や理念であることは明白であり、中期計画においても例外ではありません。

「北海学園中期計画 2025-2029」は、建学の精神や教育の理念を基本に据え、学園の使命を果たしていくために2035年に向けて学園が目指す姿を「北海学園 VISION2035」として表し、このビジョンの実現に向けた2025年度から2029年度に取り組む計画を定めています。

中期計画は、毎年度作成する単年度事業計画において具体化し、それぞれKPI（Key Performance Indicators）を設定することで、その進捗を測ることができるようにし、着実に実行していく仕組みを整えています。

このように、建学の精神、理念からビジョン、中期計画、事業計画に至るまでを連動させることで、計画の整合性を図っています。



中期計画

「北海学園中期計画 2025-2029」は「北海学園 VISION2035」の実現のため8つ領域で計画を作成し、5年後の到達目標としてKGI（Key Goal Indicator）を設定しました。毎年度作成する事業計画で進捗状況を確認しつつ、最終的な目標を明確にすることで、組織全体の共通認識のもと事業を推進していきます。

教育

北海学園大学

1. 専門教育と一般教育の充実と再構築

【KGI】・特色ある専門教育及び一般教育の構築、実践と社会的要請に応える教育成果の獲得

2. 教学マネジメントに基づく教育の質保証の構築

【KGI】・教学マネジメントを通じた学生の満足度と質の高い教育の実践
・「授業改善アンケート」の「科目の総合評価」全科目平均 4.2 点以上/5 点満点

3. 学修支援体制の強化と学修環境の整備

【KGI】・ソフトとハードの学修環境整備と、学生の主体的な学びの強化
： SA、RA の導入、TA の拡充と安定的継続、BYOD を導入した ICT 教育の充実

北海商科大学

1. 教学マネジメントの再構築と教学 IR 体制の整備

【KGI】・教育質保証委員会の設置
・教学に関する IR 情報の分析・報告活動を通じた教育課程改善内容の公表

2. 入学前教育の実施

【KGI】・新規入学前教育プログラムの導入と実施結果を踏まえた SD 研修会の実施

3. 新たなニーズに対応できる積極的な教育課程再編の検討

【KGI】・教育課程の再編

4. 能動的な学修を支援するための学修支援システム構築

【KGI】・学修支援システムを利用した自学自習・演習の一科目以上導入

5. 学内研究の推進と研究指導體制の強化

【KGI】・大学院兼任教員、特に若手研究者の増員
・博士課程選択科目として大学院セミナー（仮称）の配置と定期的な研究発表会の実施

北海高等学校

1. 新カリキュラム検討と生徒の学習力向上

【KGI】・新カリキュラムの導入
・「学校生活アンケート」：「教科毎の授業評価」、「生徒自身による学習評価」満足度 70%以上
「生徒の家庭における学習時間」2024 年度の 2 倍以上
・「図書館利用率調査」：「生徒の調べ学習」、「読書量」2024 年度の 2 倍以上

2. 北海高校独自の探究活動の発展

【KGI】・探究活動の発展とより独自性のある新規取組の具体化
・首都圏の大学との学部毎の高大連携協定締結

3. 課外活動の活性化

- 【KGI】・強化指定部（硬式野球部、サッカー部、柔道部、アイスホッケー部、陸上競技部）の2027年度までの全国大会上位入賞
- ・強化指定部の見直しと決定
- ・地域社会と協働した生徒会行事の複数回実施
- ・北海祭の文化的発表の割合を5年間で20%増加

4. 教育DXの実現に向けた取組み

- 【KGI】・デジタル化推進（印刷使用枚数を2024年度と比較し25%削減）
- ・デジタル教材の普及（2029年度全科目で導入）
- ・教育データの利活用（2029年度までに学習者データ一元的管理と教育と個別指導等で活用を実現）

5. 併設大学との高大連携事業の充実

- 【KGI】・併設大学との高大連携事業について新規事業3件以上実施

1. 国公立大学や難関大学への進学率の増加（特進コース）

- 【KGI】・特進コースから国公立大学及び難関私立大学（偏差値60以上）40名以上合格（2030年度大学入学者選抜）

2. 多様な進路選択の実現に向けた実践教育の強化（総進コース）

- 【KGI】・総進コースから北海学園大学100名以上、北海商科大学20名以上合格（2030年度大学入学者選抜）

3. 国内外の教育リソースを活用した多様な進路選択の展開（グローバルコース）

- 【KGI】・2029年度グローバルコース在籍者の海外進学率15%以上
- ・2029年度グローバルコース在籍者の国際関係学、語学分野への進学率80%以上

4. 医療看護系大学への進学促進（メディカル・プレップコース）

- 【KGI】・メディカル・プレップコースから医療系大学、看護系大学20名以上合格（2030年度大学入学者選抜）

5. 学習意欲向上と進路目標の明確化につなげる高大連携の充実

- 【KGI】・高大連携プログラムに関するアンケート調査満足度75%以上

6. 教育の質の向上のためのICT活用の促進

- 【KGI】・「学校評価アンケート」ICTの活用に関する評価3.8以上

研究

北海学園大学

1. 研究に専念できる制度や体制の充実

【KGI】・在外及び国内研修制度の一層の充実と、学内業務の見直し

2. 外部研究費の獲得推進

【KGI】・科研費（研究代表者）の年度毎の新規応募件数 40 件以上、採択率 30%以上

商科大学

1. 科学研究費補助金の獲得推進

【KGI】・2029 年度科学研究費補助金申請数 10 件、採択数 3 件以上

学生・生徒支援

北海学園大学

1. 学生によるピアサポートの促進

【KGI】・ピアサポート活動による学生の困りごと解決と安心した学生生活の支援

・「学生生活実態調査」の「学習支援（授業が分からないときに教員や上級生から得られる支援）」満足度 50%以上

2. 学業優秀者に対する特待生制度の検討

【KGI】・特待生制度の導入

3. キャリア支援体制の充実

【KGI】・4 年間を通じた本学独自のキャリア形成支援体制の整備

・学内外の連携・協力による体系的なキャリア形成支援プログラムの提供

4. 多様性に開かれた大学生活のための支援

【KGI】・学生生活支援の充実による安心した学生生活の提供

・「学生生活実態調査」の「学生相談サービス」満足度 40%以上

北海商科大学

1. 個別最適化したキャリア支援体制の充実

【KGI】・卒業生（就職希望者）の就職率 95%以上

・学生の北海道・札幌市内地場産業への理解を深める機会の提供

2. ハラスメント防止対策の推進

【KGI】・1 年次「社会文化ゼミナール」でのハラスメント防止に関するオリエンテーション実施

・教職員向けハラスメント防止対策と法令遵守に関する研修会の実施（教職員参加率 100%）

3. メンタルヘルスケアの推進

【KGI】・多様な学生に対する適切な指導と合理的配慮の充実を図るための SD 研修の実施（教職員参加率 100%）

1. 進路指導体制の充実と指定校推薦枠の拡大

- 【KGI】・大学からの協力体制を整え、大学別、学問系統別の学習会開催（北海学園大、北海商科大等、法・経済系、理工系、医歯薬系など年 10 回以上実施）
- ・高大連携協定校の指定校推薦枠人数を全大学該当学部で 10 名以上増員

2. 学力向上と進路実現に向けた支援体制の強化

- 【KGI】・大学入学共通テスト受験者数 150 名以上
- ・2029 年度進学コースからの国公立大学合格者 10 名以上
- ・面談回数や面談時間の増加（2025 年実施分から 20%増加）と「スチューデントプランナー」に基づく個別指導の実施
- ・2 年生前期進路希望調査における学部学科決定者 80%以上と受験期までの目標維持

3. 心の教育の充実

- 【KGI】・いじめ防止に繋がる指導回数増
- ・社会生活に必要な教養に関する講話会実施回数増（2024 年度比：校長講話 30%増、生徒指導部主催+1 回、学校カウンセラー+1 回）
- ・いじめアンケート結果によるいじめ事案ゼロ

4. 教員の負担軽減を目指した ICT 機器管理業務の効率化

- 【KGI】・教員の授業に関する ICT スキルの向上
- ・ICT に関する生徒支援の充実及び授業の ICT 化促進のため ICT 支援員配置

1. 課外活動の活性化

- 【KGI】・2029 年度新入生の部活動加入率 55%以上
- ・全道大会以上出場の部活動 10%増（2024 年度比）

社会連携・貢献

北海学園大学	1. 地域連携事業による社会連携・貢献や産学官連携の推進 【KGI】・地方自治体、各種団体との連携協定締結、協働事業実施、地域課題の対策措置、研究成果の共有
	2. 地域との連携・交流の強化 【KGI】・近隣地域との各種交流実施と本学の魅力発信
	3. 社会・地域連携を推進するための組織改革 【KGI】・新組織「地域開発研究センター（仮）」の設立とシンクタンク機能の発揮 (北海道を見える化する GIS データプラットフォームの拠点化事業、人口減少対策に向けた地域開発政策の研究体制構築、包括連携先などとの地域課題解決に向けた連携事業、リカレント教育も含めた道内企業との協働による人材育成事業、産学によるイノベーション連携事業)
商科大学	1. 地域課題の解決に向けた学びの促進 【KGI】・札幌市の地域発展につながる新規社会貢献事業の実施（中期期間中：5 件以上） ・ゼミにおける地域課題解決への取組みと成果の公表
北海高等学校	1. 地域に根ざした活動への積極的な取り組み 【KGI】・生徒会執行部と教職員及び保護者の連携による社会的活動の機会創出 ・ボランティア活動の参加生徒数増加 ・ホームページ及び新聞等のメディアを活用したボランティア活動情報の発信 ・文化部の地域と連携した活動の増加（2024 年度比）及び活動状況周知
札幌高校	1. 地域社会への貢献と連携の推進 【KGI】・旭水町内会でのボランティア活動の実施 ・豊平まちづくり協会との連携と環境美化活動の実施

国際化

学園大	1. 国際交流支援体制の構築 【KGI】・国際交流センターの設置
商科大学	1. 海外協定校との研究・教育交流の充実 【KGI】・国際理解、多文化共生教育に関する科目を新設する ・留学生受け入れ充実（受入定員 19 名の確保）
北海高等学校	1. 英語教育の充実による英語力の向上 【KGI】・英語検定準 2 級以上の受験者数増加（前年度比 10%増） ・全生徒英語検定準 2 級以上の受験 ・「HOKKAI English news」（全校生徒向け英字新聞）年間 6 回以上発行 ・ネイティブ教員との交流や実践的英語を活用した新規取組実施

2. 国際理解教育の強化と新制度の検討

- 【KGI】・生徒の自発的な北海学園「国際交流サロン」の利用増加
 - ・留学に関する説明会の実施（年 1 回以上）
 - ・カナダブロック大学語学研修生、ウエリントン高校短期・中期留学生の応募者、前年比 1 割以上増加
 - ・留学希望者の増加と留学経験者の増加（2029 年まで 20%増）

札幌高校

1. グローバル人材の育成のための支援体制の構築

- 【KGI】・海外進学のための指導・支援体制（海外大学進学委員会）を構築

広報・ブランディング

1. 広報活動における SNS 活用の推進

- 【KGI】・15 秒前後の動画又は静止画（主として Instagram 用）年 40 本程度、2 分前後の動画（Youtube 用）年 3 本程度作成、投稿

2. 高大連携の推進

- 【KGI】・併設校 2 校の「総合的な学習の時間」への全学的な参画
 - ・併設校 2 校での保護者・生徒を対象とした大学説明会の開催
 - ・札幌市立高校、札幌近郊の道立高校との高大連携協定の締結

3. 広報／ブランディング体制の検討と整備

- 【KGI】・今後の広報体制についての計画書作成
 - ・高大連携委員会（仮称）の設置と運用

4. 入学者確保のための選抜制度改革

- 【KGI】・一般選抜（統一型）の導入及び総合型選抜の全学的導入の検討
 - ・2025 年度入学者選抜志願者数と比較して 10%増

北海学園大学

1. 大学広報の強化と選抜方法の見直し

- 【KGI】・部署間連携による新着情報の発信や更新（大学 HP コンテンツ量 20%増（2024 年度比））
 - ・学生募集体制の強化と選抜制度の見直し（学部・学科の定員充足及び適正化）

2. 積極的な広報と SNS の活用推進

- 【KGI】・オープンキャンパス来場者アンケートに基づく SNS コンテンツの制作
 - ・SNS 運用体制の構築と、情報の即時発信による SNS 投稿数年間 30%増加、エンゲージメント率 5%向上

北海商科大学

1. 多様な広報活動の展開

- 【KGI】・志願者 1,800 名以上の維持
 - ・広報事業の見直しと新規取組の実施（中期期間における件数：3 件）
 - ・学校公開日の増加及び来場者数延べ 3,000 名以上の維持

北海高等学校

1. 多様な広報活動の展開

- 【KGI】・2028年度以降の入試で受験者数1,650人の達成
 ・1,200名の定員確保継続

1. 戦略的・効果的な広報事業の検討

- 【KGI】・アンケート等を踏まえた広告展開の見直し
 ・地域社会やマスコミが必要としている情報提供の実施
 ・設置各校及び学園の（学校）広報体制案の作成

2. 学園ブランド推進のための Visual Identity (VI) の整理・確立

- 【KGI】・「Visual Identity ガイドライン」の策定

経営基盤

1. 業務効率化の推進

- 【KGI】・本来業務従事時間の確保と事務業務の負担軽減
 ・全学と学部委員会の数（5名相当減、累計25名相当減）
 ・会議時間短縮に関する達成率（80%）

2. 女性教員の採用促進

- 【KGI】・女性教員比率30%（2024年度は18%）

3. 学内公式文書の学内開示と管理に関する基本的枠組の構築

- 【KGI】・電子媒体による学内公式文書の学内開示とその利活用の促進
 ・事務部、センター、学部、研究科及び各種委員会における会議録、資料の電子文書（PDF）化と一元的管理に向けた検討

1. 教職員の資質・能力向上のための取組み推進

- 【KGI】・他大学等と協同したFD/SD研修会の定期的開催（年3回以上）

2. 財務内容改善に向けた経費の削減

- 【KGI】・一般管理費（消耗品費、備品購入費、印刷製本費、光熱水費等）支出の見直し実行
 ・「施設等有効活用推進・管理的経費節減推進チーム」の設置と、「経費削減アクションプログラム」に基づく予算編成方針の策定

3. 若手研究者・女性研究者等の研究充実のための各種委員会業務見直し

- 【KGI】・各種委員会等における業務効率化と合理化の推進（委員会開催時間 2024年度→2029年度20%減）

4. 学生データの一元管理を行うシステムの構築

- 【KGI】・学生募集広報活動の基盤づくりのため、学生データ一元管理を行うシステムの構築

1. 北海道校友会との連携強化

- 【KGI】・創立 140 周年記念講演会の実施
 - ・「北海道教育振興資金」への寄付者数 3 倍以上（2024 年度比）
 - ・北海道校友会との連携向上と共学以降の卒業生からの支援発展

2. コンプライアンスの遵守と危機管理体制の強化

- 【KGI】・北海道学園「危機管理体制」を基礎とした学校独自のマニュアル作成、全教職員への周知(年 2 回以上)
 - ・運営委員会に学年主任を加えた会議(拡大運営員会)の実施(年 3 回)
 - ・各部活動における保護者会の開催(年 1 回以上)
 - ・定期的な教員との面談
 - ・部活動顧問会議による学校生活に関する情報、課題の共有
 - ・教員向け学習会の実施（隔年）

3. 防災体制の強化

- 【KGI】・多様な災害を想定した避難訓練の在り方検討と設置校合同訓練の実施
 - ・マニュアル更新と、教職員への周知徹底
 - ・災害発生時の基本的な対応に関する生徒、保護者それぞれの認識率 80%以上（「学校評価」の該当項目）

4. 分掌の再編、業務の統合等の検討

- 【KGI】・分掌の業務内容明確化と刷新
 - ・働き方の推進
 - ・入試業務の効率化を目指した新規システム導入と人件費削減

1. 入試方法の改良

- 【KGI】・入試方法の複数化

2. 危機管理体制の強化

- 【KGI】・災害発生時の緊急連絡及び安否確認システムの構築
 - ・危機管理マニュアルにおける重大事態への対応部分の改善

3. 健全な学校運営のためのコンプライアンスの遵守

- 【KGI】・コンプライアンス意識調査における教職員の理解度 100%

1. 財政改善

- 【KGI】・人件費比率 60%以下、経常収支差額比率 5%以上に改善
 - ・補助金収入の確保と充実、資産運用での増収による財政構造再構築と健全な財政基盤の確立
 - ・減価償却引当特定資産の復元

2. 財務システム更新による業務効率化

- 【KGI】・財務システムの更新（予算管理・執行・決算業務のクラウド化）
 - ・電子決裁導入による決裁業務簡略化と会計業務全般の省力化、省人化

3. 監査機能向上と監事機能の実質化を目指した支援体制整備

- 【KGI】・監事監査規程（基準）及び関連諸規程の策定
 - ・監査計画に基づく監査の実施
 - ・監事会の設置及び運営
 - ・監事、監査法人、内部監査室等による監査協議会（仮称）の設置及び運営

4. 法人運営におけるガバナンス強化のための環境整備

- 【KGI】・私立大学ガバナンス・コード（日本私立大学協会〈第 2.0 版〉）各原則や実施項目に係る点検及びガバナンス体制強化
- ・理事会及び常任理事会のより効率的な運用体制の整備
 - ・外部役員、評議員に対する研修を含めた情報提供の機会や内容の充実

5. 学園事務職員の育成に関する各種方針の策定と研修体制の構築

- 【KGI】・事務職員の人材育成、人事異動に関する方針等の策定、周知
- ・事務職員の人材育成に関する SD 基本方針と計画の策定
 - ・事務職員の職階別業務研修制度の確立

6. 大学を中心にした学園全体の教育研究組織の在り方検討

- 【KGI】・新たな教育研究組織、学生サービス支援組織体制の構築

7. 教職協働を推進する機能的かつ合理的な事務組織の構築

- 【KGI】・学園事務組織の改編

8. 魅力ある学園づくりのための大学組織見直し（北海商科大学）

- 【KGI】・北海商科大学学部学科の改組

9. 魅力ある学園づくりのための大学組織見直し（北海学園大学）

- 【KGI】・北海学園大学工学部の改組

10. 学園創基 150 周年記念事業の検討

- 【KGI】・150 周年までの期間で実施する事業の企画・実行

施設設備

1. 校地・校舎等の学修環境の整備と適切な管理・運営～耐震化・冷房化・バリアフリー化・老朽化対策

- 【KGI】・北海学園建物耐震化年次計画の履行（2028 年度までに耐震化率 100%）
- ・年度ごとの事業の計画的な実行と、安全で快適な教育研究環境の整備

2. 防災管理体制の強化

- 【KGI】・警備体制の見直しや入退館システム等による管理体制の構築
- ・マニュアルの継続的見直しと防災イベントの実施及び地域住民との連携体制構築
 - ・新体育館建設に伴う避難施設としての運用計画策定

3. 多様な学びに対応した ICT 環境の整備及び情報リテラシーの推進と情報セキュリティの強化

- 【KGI】・年度ごとの事業の計画的な実行と、経済性に配慮した最適化された ICT 環境の整備

4. ビジョンの実現を目指したキャンパスプランの検討

- 【KGI】・2030 年度以降のキャンパス計画、施設設備整備計画の策定



北海学園大学

北海商科大学

北海高等学校

北海学園札幌高等学校

学校法人北海学園

〒062-8605

札幌市豊平区旭町4丁目1-40

TEL : 011-841-1161